

調査レポート「観光地としての埼玉県の姿」

1. はじめに

わが国では人口減少時代を迎え、定住人口だけでなく地域経済を活性化する交流人口に対する政策も地域に必要となってきた。

非日常的生活を楽しめる地域、すなわち観光できる地域に交流人口が集積するものと考えられることから、今後は観光地としての地域の魅力が問われてくる。

そこで、本稿では観光地としての埼玉県の姿、魅力を考えてみることにした。

なお、観光とは、他の国や地方の風景・史跡・名勝・風物などを見物するとともに、温泉や乗馬など普段なかなか体験できないことを、旅先でゆっくり楽しみながら体験すること、そして郷土料理や物産・土産などを味わい、購入することなどを想定した。

また、観光地とは、保養・遊覧などを目的とした旅行に対して、歴史・文化・自然景観などの遊覧資源を持ち、交通機関や宿泊施設などで観光客の受入れを行える地域とした。

2. 埼玉県の観光・地域資源

観光・地域資源は、「神社仏閣、美術館、博物館などの史跡等」「自然、景観、公園などの風景等」「イベント・スポーツ・スタジアム等」及び「食物、名産品等」の大きく4つに分類できる。

そこで、埼玉県内の観光・地域資源を、この4つの分類毎に、かつ埼玉県内の圏域毎に整理すると図表1のようにまとめられる。

なお、埼玉県内の圏域は、その構成する市町村を次のとおりとした。

中央地域・・・さいたま市、川口市、鳩ヶ谷市、戸田市、蕨市、上尾市、伊奈町、桶川市、北本市、鴻巣市

東部地域・・・草加市、八潮市、三郷市、吉川市、越谷市、松伏町、春日部市、蓮田市、白岡町、宮代町、杉戸町、菖蒲町、久喜市、幸手市、鷲宮町、栗橋町、加須市、騎西町、大利根町、北川辺町、羽生市、行田市

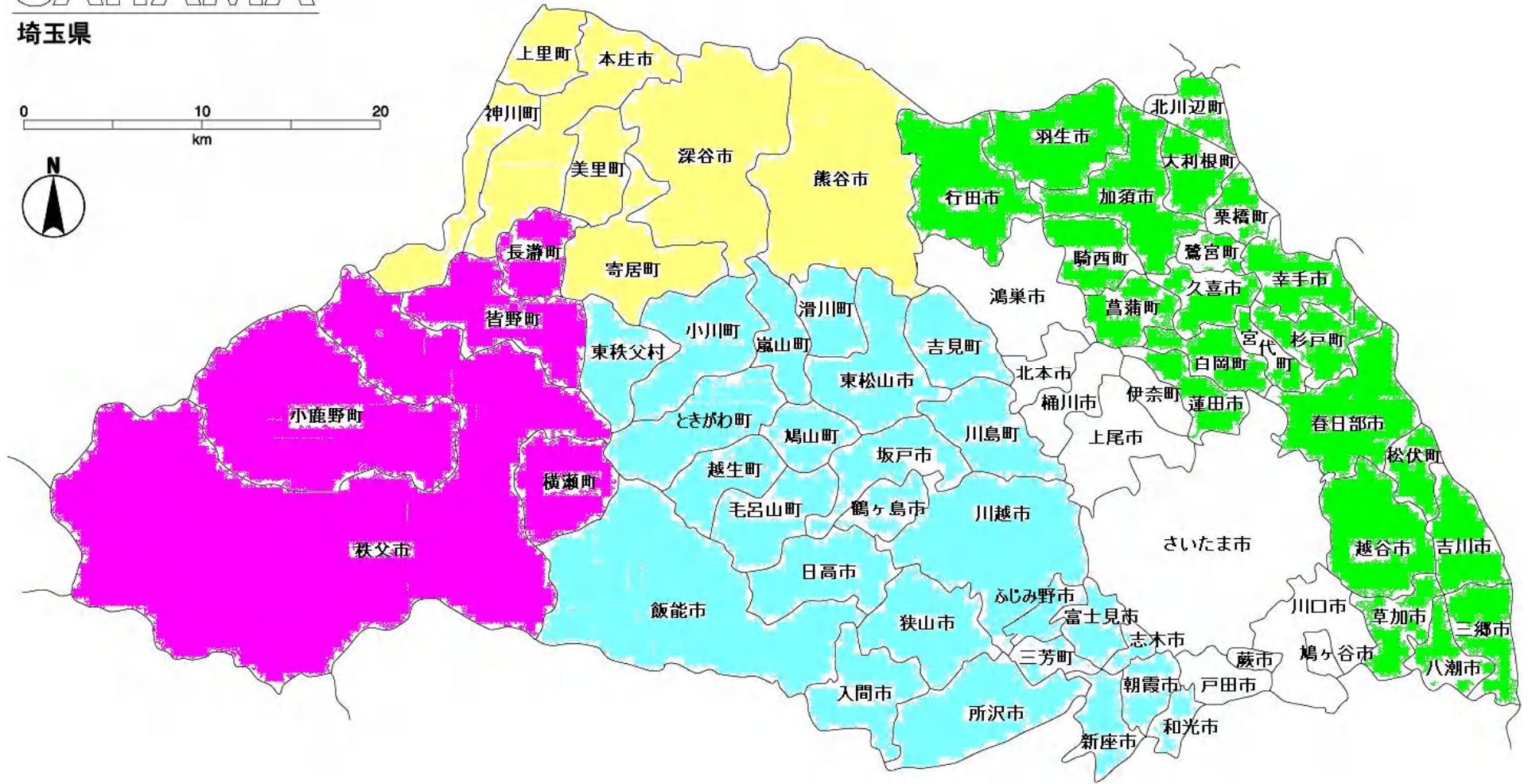
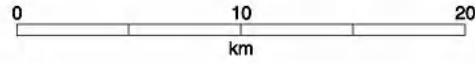
西部地域・・・和光市、新座市、朝霞市、志木市、富士見市、三芳町、ふじみ野市、所沢市、入間市、狭山市、川越市、川島町、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、毛呂山町、越生町、鳩山町、東松山市、吉見町、滑川町、嵐山町、ときがわ町、小川町、東秩父村

北部地域・・・熊谷市、深谷市、寄居町、美里町、本庄市、上里町、神川町

秩父地域・・・秩父市、横瀬町、小鹿野町、皆野町、長瀨町

SAITAMA

埼玉県



図表1 埼玉県内圏域毎の主な観光・地域資源

地域資源の種類	中央	東部	西部	北部	秩父
神社仏閣・美術館・博物館(史跡)	大宮氷川神社、調神社 近代美術館、鉄道博物館 県立歴史と民俗の博物館 ジョン・レノンミュージアム 見沼通船掘 桶川宿本陣遺構	鷲宮神社 さきたま風土記の丘 (行田古墳群) さきたま資料館 花蔵院の四脚門	川越大師喜多院 川越城本丸御殿 高麗神社、高麗家住宅 高麗聖天院、吉見百穴 平林寺惣門他、多福寺 三芳野神社社殿及び社姪子社他	金鑽(かなさな)神社 妻沼聖天山 ホフマン輪窯六号窯 日本煉瓦製造株式会社木造洋館 多宝塔(金鑽神社)	宝登山神社、秩父神社 三峰神社、秩父夜祭会館 龍勢会館 如意輪観音堂 神怡館(しんいかん) 県立自然史博物館
自然・景観・公園(風景)	盆栽村 見沼田圃 けやき並木 さいたま新都心 岩槻城址公園 さくら草公園(自生地) 大宮公園 石戸蒲ザクラ(北本)	日光街道草加松原 越ヶ谷久伊豆神社の藤 古代蓮の里 浮野の里 牛島の藤 久喜菖蒲公園 宝蔵寺沼の自生地 権現堂堤の桜・あじさい コスモス(加須市他)	川越・蔵造りの町並み 菓子屋横丁 巾着田、宮沢湖 越生梅林、黒山三滝 野火止用水、平林寺 茶畑 武蔵丘陵森林公園 箭弓稲荷神社ばたん園 あけぼの子ども森公園 所沢航空記念公園	星溪園 星川 御獄の鏡岩 冬桜 円良田湖畔 コハクチョウ 三波石峡	中津峡 彩の国ふれあい牧場 不動の滝、丸神の滝 清雲寺のしだれ桜 三峰山、宝登山 岩根山つつじ 長瀨桜並木 十文字峠のしゃくなげ 丸山公園の芝桜
イベント系・スタジアム等(祭等)	大湯祭・十日市(西の市) 大宮薪能、十二日町 さいたまスーパーアリーナ 埼玉スタジアム 2007 大宮公園野球場・サッカー場 浦和競馬場、戸田競艇場 さいたま市営浦和球場 同大宮球場 同駒場スタジアム ホンダエアポート	東武動物公園 さいたま水族館 しらこぼと水上公園 加須はなさき水上公園 むさしの村 羽生水郷公園 行田水上公園 (桜ぼんぼり祭)	日本スリーデーマーチ 朝霞市「彩夏祭」 毛呂山町「流鏝馬祭」 入間航空祭、梨狩り こども動物自然公園 吉見総合運動公園 西武園ゆうえんち 西武ドーム球場 川越市営初雁公園野球場 智光山公園、稲荷山公園	熊谷うちわ祭 深谷桜まつり 風布・小林のみかん狩り 熊谷スポーツ文化公園 熊谷運動公園	長瀨船くだり 長瀨七草寺めぐり 秩父札所巡り、秩父夜祭り 寄居玉淀水天宮祭 龍勢祭、秩父路のSL 秩父ミュージズパーク 日帰り温泉(大滝等) 長瀨付近のオートキャンプ場 あしがくぼ果樹公園村
食物・名産品(郷土料理・土産等)	うなぎ 人形・雛人形	草加せんべい 行田のフライ・ゼリーフライ 加須のうどん	お茶(狭山茶) 芋菓子 焼き鳥	五家宝、煮ぼうとう 雪くま、深谷ねぎ ブロッコリー	秩父のそば 和紙の里 長瀨天然水(かき氷)

3. 埼玉県の観光地の現状と課題

埼玉県とその観光・地域資源について SWOT 分析を実施すると、次のようにまとめられる。

・ SWOT 分析・・・外部環境と内部環境について収集調査した現況データを、外部環境については機会と脅威に分け、内部環境については強みと弱みに分ける。次に、機会と強みについては可能性として抽出し、脅威と弱みについては問題点として抽出する分析手法。十字チャート分析とも呼ばれる。

内	<p><u>強み</u>(Strength)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい溪流地など自然が残っている ・ 豊かな平地緑地が多く残っている ・ 多様な公園が多く整備されている ・ 様々な祭が各地で開かれている ・ 快晴の日が多い ・ 都心からの放射状鉄道・道路網が多数県内を縦断 ・ さいたま新都心地区に国の地方機関が集積している 	<p><u>弱み</u>(Weakness)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋資源がない(内陸県) ・ 大規模な歴史的遺産・建造物が少ない ・ 観光名所、大規模スポーツ施設等の立地が偏っている ・ 慎重な県民性(待ちの姿勢) ・ 都市計画法・農地法の規定による農地指定が多く、転用宅地化に大きな制約 ・ 県内南北交通(放射状道路)に比して東西交通網(首都圏内環状道路)の整備が不十分
外	<p><u>機会</u>(Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京(日本の政治経済の中核・大消費地)に隣接 ・ 首都圏道路交通の要衝を形成 ・ 温度・時間管理が必要な商(食)品の製造・流通に有利(容易) 	<p><u>脅威</u>(Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接都県の大規模な歴史的遺産、大規模アミューズメント施設等の観光に県民が訪れている ・ 東京に通勤通学する県民が多く、労働力や知的資産が流出 ・ 少子高齢化の進行(急激な高齢化懸念) ・ 立地産業の排水による河川の水質悪化の懸念 ・ 立地産業の排気による大気汚染の懸念



<p><u>可能性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残された自然と触れ合う観光 ・ 市場隣接が求められる産業の立地(生鮮食料品や温度管理商品の製造拠点及び技術開発研究など) 	<p><u>問題点</u>(対応の方向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働く場の不足(確保) ・ 住環境と都市基盤(整備) ・ 観光・地域資源の活用不足(PR と活用促進)
---	---

4. 終わりに

埼玉県観光・地域資源を圏域ごとに抽出し分類の上で分析したところ、主に次のような点がわかった。

- ・ 県内各地域に様々な観光・地域資源が分散分布している。
- ・ 観光・地域資源の規模が比較的小さく知名度不足、活用不足となっている。
- ・ 中央地域に大規模スポーツ施設、東部地域に水関連施設、西部地域に史跡等、秩父地域に自然資源が多く立地しているなど、地域ごとに特徴があり機能補完している。

例えば、初詣で客の参拝場所についても、図表 1 に示した各欄の先頭の寺社に、今年も多くの人出があったことが報じられている。分散している地域資源が、地域で活用されていることになる。

また、埼玉県とその観光・地域資源について SWOT 分析を実施した結果、今後の課題として、次のように提示できる。

- ・ 残された自然と触れ合う観光や既存資源の周遊観光などの開発
- ・ 観光・地域資源の PR と活用促進など

埼玉県内の交通網については、首都圏の一角として都心からの放射状の鉄道網が整備されている。高速道路網が網羅されているとは言えないながら、一般の道路網については一定の水準に達していることから、埼玉県全域が東京からの日帰り観光圏に含まれているものと考えられる。

したがって、宿泊・滞在型の観光地として開発していくよりも、日帰り型の観光地としての機能を充実し、地域経済の活性化を企図していくことが現実的であろう。

(平成 21 年 2 月 4 日 主席研究員 小池清一)